

キャラクター名
高坂イズミ

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
	サラマンダー					
オプション			年齢	15	性別	♀
覚醒	感染	衝動	憎悪	初期侵食率	32 %	
出自	安定した家庭	経験	トラウマ	邂逅	同行者：エピタフ	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	4	1	2	1		8	行動値	6
感覚	0	0	1	1		2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：ジャーム	1		情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：ヒーロー	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
処刑者の鎖	白兵	8r+4	2	7/4		ユニークアイテム。詳細はその他欄に記載。
		0				
ばっさりやるよ	白兵	13r+4		21/18		D18。鎖+刃+砕+コンセ。ダイス+LV個、装甲無視
熱に苦しめ	白兵	11r+4		45/42		D13。鎖+刃+砕+アマ+コンセ。ダイス+LV-2個、装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ヒーローズクロス	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
死んだ両親	P 遺志	N 悔悟		
両親を殺したジャーム	P 執着	N 憎悪		
墓守清正	P 友情	N 劣等感		
フォックストーム	P 連帯感	N 憐憫		
伊吹	P	N		
ファイアカウボーイ	P	N		
オリュード	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：サラマンダー(3)	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果： C値を-LV								
炎の刃(5+2)	7	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果： 攻撃力+[LV*2]								
結合粉碎(3+2)	5	4	Xジャー	-	-	対決	ピュア	
効果： 判定ダイス+LV個、装甲無視								
アマテラス(3+2+1)	6	5	Xジャー	-	単体	-	リミット	
効果： 攻撃力+[LV*4]、判定ダイス-2個								
エネルギーブレイド(3+2)	1	4	Xジャー	-	-	対決	80%	
効果： 攻撃ダメージ+2D、判定ダイス-1個、シナリオLV回								
蒼き悪魔(5+2)	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果： ガード時に使用、[LV*3]のダメージを相手に与える								
熱感知知覚	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 熱を視覚として知覚する。体温の変化から感情や体調の変化を読み取れるかも知れない。								
不燃体	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 熱に強い。通常の炎からダメージを受けない。								
レスキューアクション	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 事件現場に残された人々を救出し、安全な場所まで退避させる。登場と同時に人々に迫る危機を阻止することができる。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

ジャームに両親を殺された少女。UGNに保護され、チルドレンとして育てている。ジャームに恨みを持っているがその事実を公言することができず、両親の死因がヴィランによるものとされていることに複雑な思いを抱えている。その気持ちを晴らすため、今はジャームの処理班として動いている。エピタフに対しては助けられた恩、強さへの憧れ、同僚としての連帯感、その他いろいろな感情を持ちながら友好的に思っている。反抗期しながらに粗野な口調で日々を過ごしているのは、虚勢なのか、彼の真似なのか。

オレ／お前、あんた。多分素というか元々は「わたし」

数年前までは至って普通の、一般の安定した生活を送る子供だった。テレビに映る事件とヒーローを眺めながら、大変そう、カッコイイ、そんな感想を持つくらいだった。そんな生活が、一瞬で崩れ去ってしまう。とあるのどかな休日の昼下がり、両親と3人で遊びに出掛けていた先でとあるヴィランの暴動に遭遇する。そこを颯爽とヒーローが助けてくれ、事態は沈静化する。そこまではまるでニュースで見たような光景——のはずだった。突如様子がおかしくなったのはヒーローの方だった。まるで漫画で見たような化け物へと変身していくヒーローだった人。自分たちを助けてくれたひとが、今度は自分たちに牙を剥く。その現実が受け入れられないまま、気付いた時には辺りは再び静寂に包まれていた。鉄臭さに顔を曇らせて、近くに立つ人の持つ槍が目に入る。この人に助けられたのだと——自分だけが助かってしまったのだと、気が付くのはすぐだった。

ツインテ。パーカー+ショーパン。